神奈川工科大学情報工学科 鷹野研究室 2017年10月11日

投稿による問題共有と学習者の評価システム

学籍番号:1421009 氏名:星野勇太

指導教員:鷹野孝典

研究背景

- ●e-ラーニング学習は場所や時間を問わず行えたり,学習の管理がしやすい.学習に利用する企業や学校が増加している.
- ●登録されている問題でしか学習できず,学習者に合った問題を 提供することが難しい.



関連研究

日本人が好む英語学習方略

人文科学研究, 城砦国際大学大学院紀要第11号,

2008年,多田洋子

→英単語学習に必要な要素, 効率の良い学習方法

●e-Learningにおける学習者の振る舞いに応じたメンタリングシス

テムの構築

工学研究科基盤工学専攻,高知工科大学大学院修士学位論文,

2011年,松本直樹

→e-Learningにおけるインタラクティブ性の関与,

メンタリングによる継続性維持, 学習者の振る舞い取得

研究目的

●投稿された問題の学習状況を評価し、学習者一人一人に合った問題を提供することを研究目的とする.

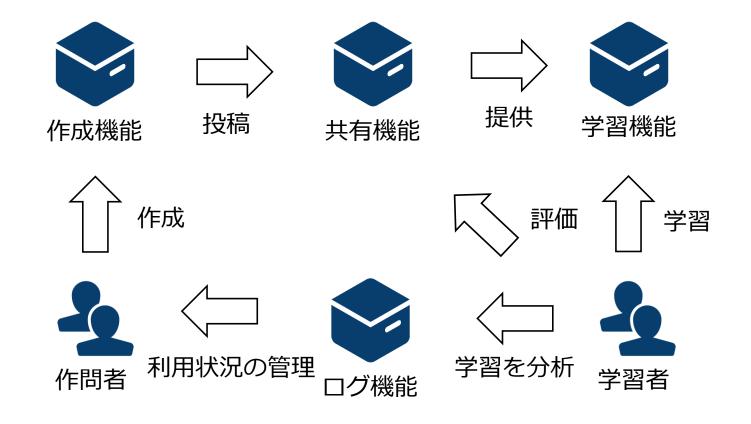
本研究のアプローチ

- ●学習者同士が問題を投稿し,評価し合うことで信頼度の高い問題を増やす.
- ●学習者の学習状況から、興味のある分野を推測する.



学習者にとって関心のある問題を提供することができる.

システム概要図



実装

- 1. 誰でも問題を簡単に作成し、投稿できるシステムの構築.
- 2. 学習状況を評価する機能の作成.
- 3. 学習者に適した問題を推奨できるシステムの実現.

現在の進捗(1)

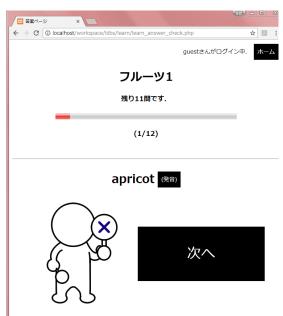
ログイン画面



●ログイン画面の作成中.

現在の進捗(2)

解答確認画面



解答確認画面で正解単語の音声出力 を作成中.

今後の予定

●実装

問題作成画面の改良.

解答ログの記録機能,問題評価機能の追加.

問題にジャンルを持たせる.

●12月 執筆開始